

◎基本情報

事務事業名	市役所本庁舎整備事業		担当部署	企画総務部 特定事業推進課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市新庁舎建設基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="29"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市民・市職員						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	基本理念である「市民の安全安心をまもり、絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」を実現した新庁舎の建設						
事業計画	30年度に何を計画していたか	◎市民アンケートの実施、有識者会議での検討 ◎庁舎の現状把握と課題の整理						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		新庁舎の建設		基本計画策定	基本設計策定	実施設計着手	実施設計策定	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	基本計画を策定するため、有識者からなる新庁舎建設基本計画検討委員会を立ちあげ、新庁舎建設にあたってのコンセプトや導入機能、防災対策等について検討した。平成30年7月に市民アンケートを、また平成30年7月、8月には市民ワークショップを、平成30年12月から平成31年1月までパブリックコメントを実施し、広く市民の意見も聴取しながら、平成31年1月に基本計画を策定した。 また、オフィス環境調査業務を実施し、現庁舎における物品・文書の量を調査するとともに、会議室の利用調査や各部門の近接度調査などを行い、オフィススタンダードを作成した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	新庁舎の建設		基本計画策定	—	—	—	
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	8,000	240	8,240
		補正予算額		0	0	18,000	75,400	76	93,476
		繰越予算額		0	0	0	12,000	0	12,000
		全体予算額		0	0	18,000	95,400	316	113,716
		決算額		0	0	0	14,631	615	15,246
		繰越額		0	0	18,000	75,000	0	93,000
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費			
		1.5	0.0	10,982	26,228				

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	0	15,246	未定	未定	未定
	うち一般財源	0	615	未定	未定	未定
	人件費	7,321	10,982	未定	未定	未定
	総事業費	7,321	26,228	未定	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	新庁舎建設のコンセプトを定めた基本計画を策定し、次のステップへと進むことができた。
	効率性	B:概ね効率的だった	
②成果に対する評価	指標名	新庁舎の建設	
	目標	基本計画策定	0
	実績	基本計画策定	0
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	基本計画を策定し、庁舎建設場所やその基本理念について、まとめることができ、次のステップである基本設計準備にとりかかることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	基本設計を進める中で、基本設計受託者やCM業務受託者、オフィス環境整備業務受託者等、多くの関係者が存在し、それらの成果を確実に設計に落とし込むことなど、数多くの調整が必要になってくることが想定される。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	基本設計業務の発注、基本設計の策定、発注者支援業務の実施。			
	R2年度	実施設計業務の発注、実施設計の策定。			